

将棋大将 V2

棋友と求むる者へ

棋道と究めんと

悩める者へ

ここに将棋大将あり

達人への道なり



目

次

1. はじめに（「将棋大将 V2」をお買い上げのお客様へ）	1頁
2. 「将棋大将 V2」の特徴	2〃
3. 「将棋大将 V2」の機能	4〃
4. 「将棋大将 V2」の起動	6〃
5. 「大将位」タイトル挑戦手合	6〃
6. 対局モード	7〃
7. 再現モード	10〃
8. 初期設定の変更	11〃
9. 棋譜ロード・セーブ・削除	12〃
10. 盤上自由設定	13〃
11. オプションメニュー（対局中の10の機能）	16〃
12. コマンドリファレンス	18〃
13. うまく立ち上がらない時	20〃
14. ユーザーサポートについて	23〃

「将棋大将V2」をお買上げのお客様へ

この度は「将棋大将 V2」をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

本ソフトは、初代「将棋大将」以来3年有余の歳月をかけて開発しております昭和ソフト自慢の「早指し将棋」であり、これから将棋を始めたい方にも上級者の方にも充分に楽しんでいただけるものと自負しております。

しかしながら、まだまだ至らない点も多くあるでしょうし、又バグなども潜んでいるかも知れませんが、どうか御容赦下さいますようお願い申し上げます。

また当社開発の将棋囲碁大将シリーズには、ユーザー登録をされた方には、「他の将棋ソフトや、バージョンアップの製品などが格安の価格でサービスされる」という特典が付いています。お手数ですが、住所・氏名・年齢・職業・電話番号・将棋の強さ・持っているゲームソフト名などをお書きの上、同封のアンケートと共に「将棋大将 V2」に対するご意見・ご感想を添えてご登録下さいますようお願い申し上げます。



2. 「将棋大将 V2」の特徴

「将棋大将 V2」の特徴は、遊び手の側にたった楽しさ一杯のメニュー構成にあります。

前作の「将棋大将 指南」と同様の豊富な機能に加え、思考ルーチンが強化されており、さらに『「大将位」タイトル挑戦モード』が加わるなどたいへん楽しいゲーム構成になっています。

- その1 棋力に合わせて持ち時間を加減できます。
- その2 上級者には『「大将位」タイトル挑戦モード』というのがあります。
- その3 「次の1手指南」など初心者の将棋学習用に、「駒落ち対局」など上級者の将棋研究用に豊富な機能があります。
- その4 囲碁将棋の専門メーカーとして、ビジネスソフト並の方全のユーザーサポート体制をとっています。

1. 上級者用2つの機能

1. 「大将位」タイトル挑戦モード

上級者用に持ち時間を短くセットして、パソコンの保持する「大将位」のタイトルに早指しで挑戦するというモードです。

(上級者にはこれが一番面白いと思いますが・・・)

2. 駒落ち対局

駒落ちで対戦することができます。平手（ひらて）では、棋力の差があり過ぎて面白くないという方のために、6種類の「駒落ち対局」が用意されています。



2. 将棋の学習・研究用3つの機能

1. 高速再現モード

いま指した将棋や、以前に指した将棋などを再現したり再開したりするときも、大変高速にしかもどこからでも再開できるようになっています。

2. 盤上自由設定

上級者がある局面の研究などをするときには便利な機能です。

「詰将棋」のコレクションなどにも重宝な機能です。

3. 思考過程公開モード

コンピュータがどのようなことを考えているのか、その頭脳の中を覗いてみたいとお思いの方に、思考過程公開モードというのがあります。

これはコンピュータの思考過程を、実際に駒を動かしていきながらお見せするというモードで、なかなか興味深いものですよ。

3. 初心者用3つの機能

1. 次の1手指南！

「次の一手」がわからないときに威力を発揮します。

最善手など、合計5手まで指南されます。

2. 時間よ止まれ！

上級者にもリズミカルに遊んでいただけるように、この「将棋大将 V2」には時間制限があります。しかし「早指し将棋は苦手だ」とおっしゃる方のために「時間よ止まれ！」の魔法機能が付いています。

3. 持ち時間変更

この「将棋大将 V2」は、NHKでおなじみの早指し将棋システムになっています。1手ごとの持ち時間と、全体の持ち時間が調節出来るようになっていきます。ご自分の棋力・ご気分に合わせてセットしてください。

3. 「将棋大将 V2」の機能

「将棋大将 V2」には、次のような2つのメニューに別れていてどちらかを選択することができます。

1. 「大将位挑戦手合い7番勝負」
2. 「将棋大将指南道場」

1. 「大将位挑戦手合い7番勝負」

「大将位挑戦手合い7番勝負」については『5. 「大将位」タイトル挑戦手合』の項を参照して下さい。

2. 「将棋大将指南道場」の7つのメニュー

「将棋大将指南道場」には、次のような7つのメニューがあります。

★★ 将 棋 大 将 指 南 道 場 ★★

1. 対局を始めます。
 2. 棋譜を再現します。
 3. 対局の初期設定をします。
 4. 棋譜をディスクから読み込みます。
 5. 棋譜をディスクに保存します。
 6. 棋譜を削除します。
 7. 盤上に駒を自由に設定します。
- ESC. MAINメニューにもどります。
どれかのキーを押して下さい。

1. 対局モード

コンピュータと対局をします。

(もちろん人間対人間などもできます。)

対局中には、「次の1手指南」・「時間よ止まれ!」など、オプションメニューに示されるような、様々な機能が楽しめます。

2. 再現モード

対局した棋譜を再現します。

10手戻し・20手進みなど再現が大変高速に出来ます。しかも、どこからでも自由に対局を再開することが出来ます。

3. 初期設定(持ち時間・駒落ちなどの設定をします。)

1手ごとの持ち時間や、全体の持ち時間を自由に設定できます。

平手(ひらて)から6枚落ちまで様々な設定で駒落ち対局を楽しむことができます。

先手・後手もここで自由に設定できます。コンピュータ対コンピュータの対戦や、仲間同士で人間対人間の対戦もできます。

4. 棋譜のロード

以前にディスクに書き込んだ棋譜をそのディスクから読み込みます。

5. 棋譜のセーブ

対局した棋譜をディスクに書き込みます。

6. 棋譜の削除

不要になった棋譜をディスクから削除します。

7. 盤上自由設定

盤上に自由に駒を設定します。

操作方法はNo.13の「10. 盤上自由設定」を参照して下さい。

4. 「将棋大将V2」の起動

「将棋大将 V2」の起動は、プログラムディスクをドライブA：に入れ、棋譜保存用ディスクをドライブB：に入れて立ち上げます。

棋譜の保存を必要としない場合は、ドライブB：は要りません。ただしタイトル挑戦手合いのときは棋譜が自動的にセーブされますので、棋譜用ディスクを挿入しておいて下さい。

「将棋大将 V2」を起動してしばらくたつと、次のようなメニュー画面が現われます。

★★★ MAIN メニュー ★★★

1. 「大将位」挑戦手合7番勝負

2. 将棋大将 指南道場

どれかのキーを押して下さい。

希望のメニューを選択すると、それぞれのプログラムが走るようになっています。

5. 「大将位」タイトル挑戦手合

「大将位」挑戦手合7番勝負

これは、当開発部自慢のメニューです。コンピュータが4勝すれば、7番勝負は終わりますが、貴方が勝ち続けると7番まで対局できます。それが7連勝の時はさらに「リターンマッチ」があります。これにも7連勝すると「大将位」の称号が授与されます。是非挑戦してみてください。



6. 対局モード

1. 操作の方法

その1. キーボードによる入力

操作はすべて、右側のテンキーだけで行なえるようになっています。
(これも慣れるほどに速くなるように考慮したものです。)

イ. 駒の移動

1. 移動先の番地を、将棋盤上の数字を先に、横の数字を後に入力します。すると、移動先の番地の右上に、赤い●印が表示されます。そして移動可能な駒の右下に、白い数字が点滅します。と同時に画面右下にも移動可能な駒とその番地と数字が表示されます。
2. 移動する駒の数字を、将棋盤の点滅する白い数字からか、または画面右下の数字から選んで入力して下さい。これでOKです。

ロ. 駒の成・不成

1. 最初は駒の移動と同じです。
2. 移動する駒の数字を入力したときに、その駒が慣れる時には、ピーッとBEEP音が鳴りますので「不成」のときは、0キー、「成」のときは、0以外のキーを押して下さい。

ハ. 駒を打つとき

1. 駒を打ちたい番地を、前述のように指定します。
2. テンキーのピリオドキー（3の下のキー）を押します。
すると、自分の持駒の左上に白い数字が点滅し、同時に画面右下にも持駒とその駒の数字が表示されます。
3. 希望する駒の数字を、持駒エリアの点滅する白い数字からか、または画面右下の数字から選んで入力して下さい。これでOKです。

ニ. 入力の訂正

指定されている以外のキー、例えば、RET、SPC、BSキーなどを押すと、BEEP音と共に最初からの入力待ちになります。

ホ. コンピュータの手

コンピュータの指した手は、画面左下に表示されると共に、指した駒の左上にブルーのマークが点滅しますので、コンピュータの手が速すぎたり、局面が複雑になって、コンピュータが何処へ指したかわからなくなった時に便利です。

ヘ. オプションメニューの表示

1. [HELP]キーを押すとオプションメニューを表示させることができます。
2. どれかのキーを押すとオプションメニューが消え、対局を続けることができます。(オプションメニューを表示しているあいだは対局を続けることはできません。)

その2. マウスによる入力

駒の移動にはマウスを利用することができます。

1. 動かしたい駒の上でマウスの左ボタンをクリックします。
2. その駒の左上隅に赤丸のマークが出ます。
3. 移動したい場所へマウスカーソルを持って行ってマウスの左ボタンをクリックします。

(注)1. 指定した駒を中止する時はマウスの右ボタンをクリックします。

(注)2. 駒が成れる時は、ピーッとBEEP音が鳴りますので、

「成る」のときは、マウスの左ボタンをクリックします。

「不成」のときは、マウスの右ボタンをクリックします。



2. 対局中のオプションメニュー

対局中に[HELP]キーを押すと、画面右下に下に示すようなメニューが表示されます。

[F・2]	時間よ止まれ
[F・3]	思考過程公開
[F・5]	次の1手指南
[F・6]	時間切れの警告
[F・7]	1手の駒音
[F・8]	ま っ た ！
[F・10]	投 了
[ESC]	対局 中断

それぞれの機能については、オプションメニューの項を参照して下さい。

3. 途中から対局を始めるときの注意

対局モードでは、途中から対局を始めることができますが、最初の選択で「3. 途中から対局を始めるとき。」以外を選択すると棋譜データが全て消されますので注意が必要です。

ルールなどに関するお断り

簡単な千日手の回避は入力されていますが、複雑なものは理解していませんのでご容赦下さい。



7. 再現モード

イ. 再現するときの注意

対局を再現するには、コンピューターに棋譜が読み込まれていなければなりません。

対局直後であれば問題はありませんが、以前の対局を再現したいときは、「将棋大将指南道場」メニューの「4」によって、希望する棋譜をディスクから読み込んでおかなければいけません。それから「将棋大将指南道場」メニューの「2」で再現モードに入ります。

ロ. 再現モードの特徴

画面右下に表示されているコマンドの外に20手戻しと20手進みがあり、たいへんスピーディーに再現することができます。

また、どこからでも自由に対局を再開することができます。

ハ. 対局再開の手順

1. 「将棋大将指南道場」メニューの「4. 棋譜をディスクから読み込みます」によって、希望する棋譜をディスクから読み込みます。
2. 次に再現モードで対局を再現し、再開したい局面で再現を終了します。
3. 続いて「将棋大将指南道場」メニューの「1. 対局を始めます」を選択し、「3. 途中から対局を始めるとき」を選択して対局を再開します。

ニ. 再現モードのコマンド

[ROLL UP]	最初まで戻る
[INS]	20手戻る
←	10手戻る
↑	1手戻る
↓	1手進む
→	10手進む
[DEL]	20手進む
[ROLL DOWN]	最後まで進む
[ESC]	再現の終了

8. 初期設定

「将棋大将 V2」では、初心者から上級者まで楽しく遊んでいただくために、「初期設定」という項目を設け、さまざまな条件設定を変更できるようにしました。

駒落対局や、先手後手の変更ができるのはもちろんのこと、一手ごとの持ち時間と全体の持ち時間を別々に設定することができるようになっています。ご自分の棋力と、そのときのご気分に合わせていろいろな設定で楽しんでみて下さい。

イ. 初期設定の内容には次のようなものがあります。

1. 1手ごとの持ち時間の設定
2. 全部の持ち時間の設定
3. 駒落ちの設定
4. 先手・後手の設定
- ESC. 最初の画面に戻ります

ロ. 1手ごとの持ち時間は「10秒」から「2分」まで7段階に設定することができます。

ハ. 全体の持ち時間は、「なし」から「20分」まで7段階に設定することができます。

ニ. 駒落ちの設定メニューはつぎのようになっています。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 0. 平手 | 1. 香落ち | 2. 角落ち |
| 3. 飛車落ち | 4. 二枚落ち | 5. 四枚落ち |
| 6. 六枚落ち | | |

ホ. 先手・後手の設定

先手後手の設定は、人間とコンピュータを自由に設定できるほか、人間対人間、あるいはコンピュータ対コンピュータなどができます。コンピュータ対コンピュータの対戦などは、なかなか興味深いものです。

(注) コンピューター対コンピューターの時は [ESC] で終了します。

9. 棋譜ロード・セーブ・削除

「将棋大将指南道場」メニューの「4. 棋譜をディスクから読み込みます」・「5. 棋譜をディスクに保存します」・「6. 棋譜をディスクから削除します」の棋譜ファイルの操作を行うときは、必ずドライブB:に、棋譜保存用ディスクセットを入れておいて下さい。

1. 棋譜をディスクから読み込むとき

カーソルキーでファイル名の上にあるリバー스를動かし、リターンキーで決定します。

2. 棋譜をディスクに保存するとき

キーボードから希望する棋譜名を入力して下さい。

棋譜名は、8文字までにして下さい。それ以上は無視されますので、同じ名前の棋譜がすでにあるときは、以前の棋譜が消えてしまいます。

3. 不要になった棋譜を削除するとき

カーソルキーでリバー스를不要になった棋譜名の上に動かし、リターンキーで削除を実行します。



10. 盤上自由設定

盤上自由設定は、「将棋大将指南道場」メニューの「7. 盤上に駒を自由に設定します。」を選択することで、このモードに入ることができます。

1. 自由設定のメニュー

★★盤上自由設定メニュー★★

1. 最初から設定を始めるとき
2. 対局開始から設定を始めるとき
3. 詰め将棋の設定を始めるとき
4. 途中から設定をはじめるとき
- ESC. 最初の画面に戻ります

- a. すべての駒が盤外にある状態で始める時は、「1」を選択します。
- b. 将棋盤上に駒がならべてある状態の時は、「2」を選択します。
- c. 詰め将棋のときなどは、駒の半分が後手の駒台にあり、残り半分が盤外にある状態で始まる「3」が便利です。
- d. すでにセーブされている局面を修正したいときは、「4」を選択します。

2. 自由設定モードに入るときの注意

対局や再現モードなどで現れた局面を、自由に加工したいときなどに、このモードを使いますが、最初の選択のところでは「4. 途中から設定をはじめるとき。」を選択しなければなりません。間違つて他のメニューを選択すると、盤データが全て消されますので注意が必要です。

3. 自由設定モードの構造

- イ. 自由設定では、駒のエリアを、将棋盤・先手の駒台・後手の駒台・盤外の4つに分けています。

4. マウスによる操作

- イ. マウスカースルで駒を指定します。

盤外の駒は画面右下に表示されている駒のところでマウスの左ボタンをクリックして指定します。

- ロ. 次に駒を移動します。

移動したい場所にマウスカースルを移動し左ボタンをクリックします。

- ハ. 最後に駒の向き、成り不成りを指定します。

盤上では指定した駒の上で右ボタンのクリックを続けると、先手不成・先手成り・後手不成・後手成りの順で駒の状態が変化します。

(注) 操作の途中での中止は、マウスの右ボタンで行ないます。

5. キーボードによる操作

- イ. まず駒エリアを指定します。

[数字]. 将棋盤上るとき
[→]. 先手の持ち駒エリア
[←]. 後手の持ち駒エリア
[↓]. 盤外エリア

(注) 数字のキーを入力した時は、自動的に将棋盤のタテの行の指定となります。このあとでヨコの行の数字を指定して将棋盤上の駒を特定します。

ロ．次に駒を指定します。

駒を指定するときは、次の数字で指定します。なお将棋盤上での駒の指定は(イ)のタテの行の指定につづくヨコの行の指定で行ないます。

1. 歩兵	2. 香車	3. 桂馬
4. 銀将	5. 金将	6. 角行
7. 飛車	8. 王将	

ハ．最後に駒の移動場所を指定します。

将棋盤上へ移動するときは〔数字〕キー。

先手の持ち駒エリアへ移動するときは〔→〕キー。

後手の持ち駒エリアへ移動するときは〔←〕キー。

盤外へ移動するときは〔↓〕キー。

(注) 将棋盤上へ移動したい時だけ、もう一度よこの行の数字を入力し、正しければリターンキーで決定します。

二．駒の向き・成り・不成りを決定します。

駒の向き・成り・不成りは、将棋盤上の駒を指定したあと、リターンキーの前に〔ROLL UP〕キーで駒の状態を変化させてからリターンキーで決定します。

〔ROLL UP〕 は先手不成・先手成り・後手不成・後手成りの順で変化します。

〔ROLL DOWN〕 は後手不成・先手成り・先手不成・後手成りの順で変化します。



11. オプションメニュー（対局中の7の機能）

「将棋大将 V2」には対局を楽しんでいただくために、様々なオプションメニューを用意しております。ご自分の棋力、その時のご気分に応じて自由にセットして楽しんでいただければ幸いです。

[F・2] 時間よ止まれ！

上級者にもリズミカルに遊んでいただけるように、この「将大将指南」には時間制限があります。しかし「早指し将棋は苦手だ。」とおっしゃる方のために「アラジンの魔法」ならぬ「時間よ止まれ！」の魔法機能が付いています。

[F・3] 思考過程公開

コンピュータがどのようなことを考えているのか、その頭脳の中を覗いてみたいと思いいの方に、思考過程公開モードというのがあります。

これはコンピュータの思考過程を、実際に駒を打っていきながらお見せするというモードで、なかなか興味深いものですよ。

[F・5] 次の1手指南

「どこに打てばいいかわからない！」というようなときにはこのキーを押して下さい。コンピュータが「私ならここへ打ちます。」というところを、合計10箇所まで指南してくれます。

- | | |
|---------|-----------------|
| [F・5] | 第1手を指南してくれます。 |
| [数字] | 第?手を指南してくれます。 |
| [↑] [↓] | 先に指南した手に戻ります。 |
| [RET] | 次の1手をこの手に決定します。 |
| [HOME] | 指南を終了します。 |

[F・6] 時間切れの警告

この「将棋大将 V2」は、NHKでおなじみの早指し将棋システムになっています。1手ごとの持ち時間と、全体の持ち時間を調節できるようになっています。1手ごとの持ち時間がなくなってきたときは3秒前から、全体の持ち時間がなくなってきたときは6秒前から警告音が鳴るようになっています。上級者の方で1手ごとの持ち時間を短くしたときには結構うるさいとお思いの方もいらっしゃると思いますが、この音も消せるようになっています。

[F・7] 1手の駒音

深夜などまわりが静かなときは、小さなピープ音も意外に大きく感じるものですね。そのようなときには、このスイッチで音を消して下さい。

[F・8] まった！

「まった！」は、あまり勧められたものではありませんが、どうしても「その1手、まった！」と言いたいときは、そつとこのキーを押して下さい。きっとコンピュータは「まった！」を認めてくれることでしょう。

[F・10] 投了

もしあなたがどんなに負けていても、「将棋大将 V2」は対局を続けてくれますので、もう「負け！」を宣言したいときはこのキーで投了となります。

[ESC] 対局中断

まだ負けたわけではないが、一旦対局を中断したいときにこのキーを用います。忙しくてあとで対局をしたい時は、棋譜のセーブをお忘れなく…！

12. コマンドリファレンス

★★ MAINメニュー ★★

1. 「大將位」挑戦手合7番勝負

- 1. 対局を開始する
- 2. 対局を再現する
- 3. メニューにもどる
- [ESC] .ゲームを終了する

2. 「将棋大將指南道場」

1. 対局を始めます

- 1. 平手で対局を始めるとき
- 2. 駒落ちで対局を始めるとき
(メニュー3で設定が必要)
- 3. 途中から対局を始めるとき
- [ESC] .最初の画面に戻ります

- [F・2] 時間よ止まれ
- [F・3] 思考過程公開
- [F・5] 次の1手指南
- [F・6] 時間切れの警告
- [F・7] 1手の駒音
- [F・8] まった!
- [F・10] 投了
- [ESC] 対局中断

2. 棋譜を再現します

- [ROLL UP] 最初まで戻る
- [←] 10手戻る
- [↑] 1手戻る
- [↓] 1手進む
- [→] 10手進む
- [ROLL DOWN] 最後まで進む
- [ESC] 再現終了

3. 対局の初期設定をします

- 1. 1手ごとの持ち時間の設定
- 2. 全部の持ち時間の設定
- 3. 駒落ちの設定
- 4. 先手・後手の設定
- [ESC] .最初の画面に戻ります

- 1. コンピュータが先手です
- 2. あなたが先手です

4. 棋譜をディスクから読み込みます

5. 棋譜をディスクに保存します

6. 棋譜を削除します

7. 盤上に駒を自由に設定します

- 1. 最初から設定を始めるとき
- 2. 対局開始から始めるとき
- 3. 詰め将棋の設定を始めるとき
- 4. 途中から設定を始めるとき
- [ESC] .最初の画面に戻ります

- [数字] : 将棋盤上のとき
- [→] : 先手の持ち駒エリア
- [←] : 後手の持ち駒エリア
- [↓] : 盤外エリア
- [ESC] : 設定終了

[ESC] .MAINメニューに戻ります

[F・6] 時間切れの警告

[F・7] 1手の駒音

[F・10] 投了

[F・5] 第1手指南

[数字] 第?手指南

[↑↓] 他の手

[RET] 決定

[HOME] 指南終了

1. 10秒

2. 15秒

3. 20秒

4. 30秒

5. 40秒

6. 1分

7. 2分

[HOME].設定画面に戻ります

[ESC].最初の画面に戻ります

1. なし

2. 1分 (30秒刻み)

3. 2分 (30秒刻み)

4. 5分 (30秒刻み)

5. 5分 (1分刻み)

6. 10分 (1分刻み)

7. 20分 (1分刻み)

[HOME].設定画面に戻ります

[ESC].最初の画面に戻ります

1. コンピュータが後手です

2. あなたが後手です

[HOME].設定画面に戻ります

[ESC].最初の画面に戻ります

1. 香落ち

2. 角落ち

3. 飛車落ち

4. 2枚落ち

5. 4枚落ち

6. 6枚落ち

[HOME].設定画面に戻ります

[ESC].最初の画面に戻ります

[ROLL UP/DOWN] ※

[RET] 決定

[1] : 歩兵

[2] : 香車

[3] : 桂馬

[4] : 銀将

[5] : 金将

[6] : 角行

[7] : 飛車

[8] : 王将

[数字] : 将棋盤上のとき

[→] : 先手の持ち駒エリア

[←] : 後手の持ち駒エリア

[↓] : 盤外エリア

[ROLL UP/DOWN] ※

[RET] 決定

[ESC] 指定解除

※ 駒の向き・成り・不成り

13. うまく立ち上がらない時

「将棋大将 V2」がうまく立ち上がらないときは、ディップスイッチとメモリースイッチ、及びドライブの接続などの確認をお願い致します。

(注: エプソン製のPC-286シリーズはそのまま動作します)

1. まずメモリースイッチを確認します

イ. すべてのドライブからディスクettenを抜いて空にしてください。

ロ. 電源を入れてしばらくたつと、ディスプレイに下記のようなメッセージが表示されますので、リターンキーを押して下さい。

```
How many files(0-15)?
```

ハ. するとさらにつぎのようなメッセージが(機種によって多少違うかも知れませんが、かまいません。)表示されてカーソルが点滅します。

```
NEC N-88 BASIC(86) version 2.0
```

```
Copyright (C) 1983 by NEC Corporation / Microsoft Corp.
```

```
379524 Bytes free
```

```
ok
```

ニ. ここでキーボードからMONと入力してリターンキーを押すと、h]と表示が変わりますので、SSWと入力してリターンキーを押します。

```
MON
```

```
h]SSW
```

```
SW1 SW2 SW3 SW4 SW5 SW6 SW7
```

```
48 93 02 08 00 00 00
```

```
h]
```

ホ. ここでSW3の値が02以上であれば、メモリーはOKです。

つぎは、ディップスイッチの項に進んで下さい。02未満であればつぎの項に進んで下さい。

2. **メモリースイッチ3 (SW3) の値が02未満のとき**

イ. お客様のお持ちの機種がPC-9801 F2/U2の場合

今までにメモリーの増設をされたことがなければ、256KB(初期値)の増設が必要です。

今までにメモリーを増設したことがある方は、最初の128KBと合わせて384KBになっていれば、メモリースイッチの変更の項に進んで下さい。384KBに足りなければさらに増設が必要です。

ロ. お客様のお持ちの機種がPC-9801 VF2の場合

今までにメモリーの増設をされたことがなければ、128KB(初期値)の増設が必要です。

今までにメモリーを増設したことがある方は、メモリースイッチの変更の項に進んで下さい。

3. **メモリースイッチ3 (SW3) の変更**

イ. 1-ホ、の状態から、SSW3 と入力してリターンキーを押します。

h)SSW3

00-

ロ. ここで増設したメモリーの大きさに合わせてメモリースイッチの3値を変更します。

合計が384KBになったときは、02を入力します。

合計が512KBになったときは、03を入力します。

合計が640KB以上になったときは、04を入力します。

ハ. あとはリセットをして、ピーツというBEEP音がなく立ち上がり、1-ロ、ハのメッセージが表示されればOKです。

念のため1-ニの手順でメモリースイッチの値を確認して下さい。

4. **ディップスイッチを確認します**

ディップスイッチが、つぎのようになっているか確認して下さい。

イ. お客様のお持ちの機種がPC-9801F2/U2の場合

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
SW1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	--	--	--	--
SW2	OFF	OFF	ON	ON	ON	--	--	--	--	--

ロ. お客様のお持ちの機種がPC-9801VM2/UV2の場合

	1	2	3	4	5	6	7	8
SW1	ON	OFF	--	OFF	--	--	OFF	--
SW2	OFF	OFF	ON	ON	--	OFF	OFF	--
SW3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

ハ. お客様のお持ちの機種がPC-9801VX2の場合

	1	2	3	4	5	6	7	8
SW1	ON	OFF	--	OFF	--	--	OFF	--
SW2	OFF	OFF	ON	ON	--	--	OFF	--
SW3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	--	OFF	--

ニ. お客様のお持ちの機種がPC-9801RA/RXの場合

	1	2	3	4	5	6	7	8
SW1	ON	OFF	--	OFF	--	--	OFF	--
SW2	OFF	OFF	ON	ON	--	--	OFF	--
SW3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	--	OFF	--

ホ. お客様のお持ちの機種がPC-286V/L/Xの場合

	1	2	3	4	5	6	7	8
SW1	ON	OFF	--	OFF	--	--	OFF	--
SW2	OFF	OFF	ON	ON	--	--	OFF	--
SW3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	--	--	--

(-- 印は ON OFF どちらでもよいもの)

14. ユーザーサポートについて

初代「将棋大将」の開発を始めて3年有余——囲碁将棋の専門メーカーを目指して開発を進めてまいりましたが、囲碁も将棋も大変奥の深いゲームです。なかなか思うようには進みません。開発スタッフも切歯扼腕・身の置きどころがないと言った具合で頑張っています。

当社の大将シリーズをお買い求めいただいたお客様におかれましても、「もう少し何とか」という思いは同じではないかと思いますが、当社の精神をお汲みいただき、未永くお引き立て下さいますようお願い申し上げます。

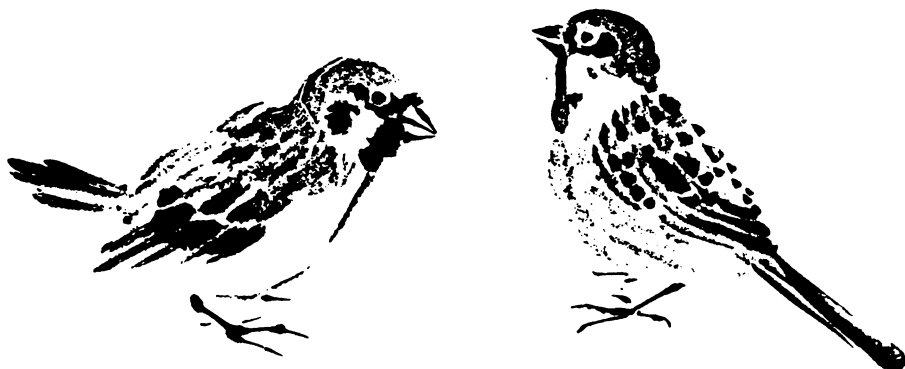
まだまだ至らないソフトですが、これからもより素晴らしいものへと改良を加えて皆様にお届けする予定でいます。

そのためにお手数とは存じますが、同封のアンケート用紙と共にユーザー登録用紙を添えてありますので、棋力や持っているソフトなどをお書きの上ご返送下さいますようよろしくお願い申し上げます。

昭代産業株式会社 ソフト開発部

〒910 福井市高木1丁目308-2

TEL 0776-53-2642





441685

昭代産業株式会社ソフト開発部
〒910 福井市高木1-308-2 TEL. 0776-53-2642